

提言書

高速道路は、我が国の人々の交流や物流を支えるとともに、国民の命を守る重要な社会基盤です。

人口減少や高齢化等による生産年齢人口が減少する中において、地域経済の活性化を図るためには、円滑で安定した人流・物流の確保による生産性の向上が不可欠です。

また、本年六月の大阪府北部の地震や平成三十年七月豪雨など、各地で大規模な自然災害が頻発しています。とりわけ年々発生確率が高まり、甚大な被害が想定される南海トラフ地震への備えを高めることに加え、地域住民の日々の安全・安心な暮らしを確保することが必要です。

このため、地域経済の活性化を支えるとともに、大規模災害時に信頼性が高い「四国8の字ネットワーク」の早期整備が不可欠です。

このことから、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、地域経済の成長を促し、大規模災害時には「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向けた事業中区間の整備推進。
- 一、計画段階評価完了区間の早期事業化及び実施中区間の早期完了、計画段階評価の未実施区間の早期着手。
- 一、暫定二車線区間における安全・安心で快適な走行環境を確保するための、地域の実情や利用状況を踏まえた四車線化や付加車線設置等の推進。
- 一、将来にわたって安全性・信頼性を確保するため、計画的な老朽化対策等の推進と予算の別枠確保。
- 一、利便性の向上による、人流の活性化や物流の効率化を図るための、スマートインターチェンジやS.A.P.A等の整備推進。
- 一、訪日外国人旅行者を含めた全ての高速道路利用者に、わかりやすい案内を行うための「高速道路ナンバリング」などの環境整備。
- 一、四国8の字ネットワーク及び関連する道路を重要物流道路として早期に指定及び重点整備。
- 一、高知自動車道「新宮く大豊」間の早期の全復旧（四車線）。

これらの項目を着実に実施するために、平成三十一年度予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額を満額確保すること。

平成三十年八月六日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

四国経済連合会会長 千葉 昭

徳島県知事 飯泉 嘉門

香川県知事 浜田 恵造

愛媛県知事 中村 時広

高知県知事 尾崎 正直

